

『新世紀人文学論究』 第8号 が刊行されました！！

ISSN 2424-2416

B5判 324頁 並製 定価2,500円(送料税込) 2024年2月刊行

発行・販売元 新世紀人文学研究会・亜細亜総合企画工房

『新世紀人文学論究』はその名称の通り、新世紀における人文主義、人文科学の研究を学際的、国際的に広く展開する学術研究誌(年報)です。

論説資料保存会の論集にも掲載されています。

第8号では「満洲における言語接触」を特集し、国内外からの研究論文、研究調査報告を10編、また植民地教育史・日本語教育史研究、さらに日タイ言語文化研究、言語・文化研究の論考をそれぞれ、数編、収録しています。

前々号から「高橋和巳研究」のコーナーをもうけ、今号も力作が寄せられています。

新世紀人文学研究会は国内国外を問わず、会の趣旨に賛同される方はどなたでも参加できます。

編集委員会では意欲的な論考を歓迎しています。

新世紀人文学論究	
第8号 Feb. 2024	
【歴史の書寫】教育とは何か——「満洲国」における言語接触	上野 隆二 1
【特集にあたって】「満洲国」における言語接触	池田 勇一 3
——1934年教育の根本部「滿洲国」を以て中心に——	池田 勇一 5
人物像の比較分析「空想語文」	池田 勇一 27
【満洲国】新学制後の「空想語文」——第二中学校の	池田 勇一 27
日本語教育史を以て中心に——	池田 勇一 27
朝鮮(満洲)における植民地教育史の再考	池田 勇一 51
——「空想語文」を以て中心に——	池田 勇一 51
研究報告「満洲」新編——「満洲国」の言語・社会	池田 勇一 59
研究報告「満洲」新編——「満洲国」の言語・社会	池田 勇一 59
【植民地教育史研究・日本語教育史研究】	池田 勇一 59
戦時中の文書の普及運動に発する語門及び教育史	池田 勇一 109
——「空想語文」を以て中心に——	池田 勇一 109
海外特別学級「空想語文」の成立と展開	池田 勇一 115
——「空想語文」を以て中心に——	池田 勇一 115
【日中対照研究・日本語教育史研究・言語文化研究】	池田 勇一 115
言語の大きさとその展開と異文化表現との関係について	池田 勇一 149
——「空想語文」を以て中心に——	池田 勇一 149
言語論によって生じる「空想語文」の研究	池田 勇一 163
——「空想語文」を以て中心に——	池田 勇一 163
【日本語学】「空想語文」の成立と展開	池田 勇一 177
——「空想語文」を以て中心に——	池田 勇一 177
日本語教育における「空想語文」の展開	池田 勇一 191
——「空想語文」を以て中心に——	池田 勇一 191
加藤武蔵の「空想語文」に関する研究	池田 勇一 205
——「空想語文」を以て中心に——	池田 勇一 205
【日タイ言語文化研究】	池田 勇一 217
戦時下の「空想語文」における日本語と日本語教育との関係	池田 勇一 217
——「空想語文」を以て中心に——	池田 勇一 217
タイにおける東南アジア文学研究員の一考	池田 勇一 231
——「空想語文」を以て中心に——	池田 勇一 231
【高橋和巳研究】	池田 勇一 241
高橋和巳「空想語文」——「空想語文」の成立と展開	池田 勇一 241
——「空想語文」を以て中心に——	池田 勇一 241
【巻頭】研究大会報告、研究会会報、投稿者一覧、編集後記	池田 勇一 249

本誌は書店ではお求めになれません。

部数に限りがあります。お早めにお求めください。

購入をご希望の方は、下記までご連絡ください。

hiroshitanaka724@gmail.com

入会はいつでも受け付けています。会費無料。

研究大会も毎年、開催しています。

新世紀人文学研究会の活動については、
ぜひ下記ホームページをご覧ください。

<http://shinseiki-net/>



新世紀人文学論究

第8号
Feb. 2024

【思索の言葉】教育とは何か	上田崇仁	1
【特集にあたって】「満洲国」における言語接触	酒井順一郎	3
「満洲国」における回教徒問題 ——1944年発表の富永理の調査報告資料を中心に——	酒井順一郎	5
偽満州国と植民地朝鮮の小学校日本語教科書における 人物像の比較分析(中国語文)	徐雄彬、王詩淇	27
「満洲国」新学制後の「在満朝鮮人」初等学校第一・第二学年の 日本語教科書に描かれた日本人像——漢民族学校との比較を視点に——	王詩淇	37
朝鮮・「満洲」における植民地官僚官舎の暮らし ——在満少国民のライフヒストリーを手がかりに——	北島順子、吉岡数子	51
「満洲国」の破綻要因を追究する ——「五族協和」をめぐる——	朴仁哲、手塚孝典	67
坪田譲治「満洲・繪ばなし」にみる民衆・社会像	田中寛	83
満洲・間島地方の朝鮮人に対する教育施策	宮脇弘幸	97
【植民地教育史研究・日本語教育史研究】		
戦時中の天津の音楽活動に関与する部門及び政策理念	楊慧	109
山口喜一郎の台湾における「成功体験」	王劍豪	125
南方特別留学生オマールの妹アザアジズと俳句 ——日本語教育につなぐ——	檜山純子	141
【日中対照研究・日本語教育研究・言語文化研究】		
程度の大きさを示す副詞と可能表現との共起について ——中日対照の視点から——	韓樹坤	149
関連語によって生じる主語省略の研究 ——「なら」文と「如果」文を中心に——(中国語文)	祁吉曼	163
『紅樓夢』における形容詞重畳式と“的”の共起についての一考察	胡春艶	177
“特別”と他の程度副詞との共起について(中国語文)	時衛国	191
日本語教育における新しい語形変化表の提案	石橋教行	207
反転授業という視点からみた大学での日本語教育(中国語文)	孫宇雷	229
知識共有コミュニティにおける中国イメージの考察 ——「Yahoo! 知恵袋」を中心に——	譚崢	237
【日タイ言語文化研究】		
戦時下のチェンマイにおける日本軍と日本語教育との関係 ——チェンマイでの調査と共に——	山口雅代、ธนันท์ ภู่บุญ, วลัยพร กาญจนการณ, 川口泰広	253
タイにおける東南アジア文学賞受賞作一覧	宇戸優美子	269
条件文をめぐる日タイ言語対照研究 ——分類方法と条件用法に関する比較考察——	ピヤトーン・ケウワッタナ	281
【高橋和巳研究】		
高橋和巳『墮落』再論——手段の目的化をめぐる省察——	東口昌央	293
高橋和巳『邪宗門』と『日本残酷物語』に関する一考察	太田寛	309
【彙報】研究会報告、研究大会会則・投稿規程、執筆者一覧、編集後記		317